

甘楽町の維持向上すべき歴史的風致

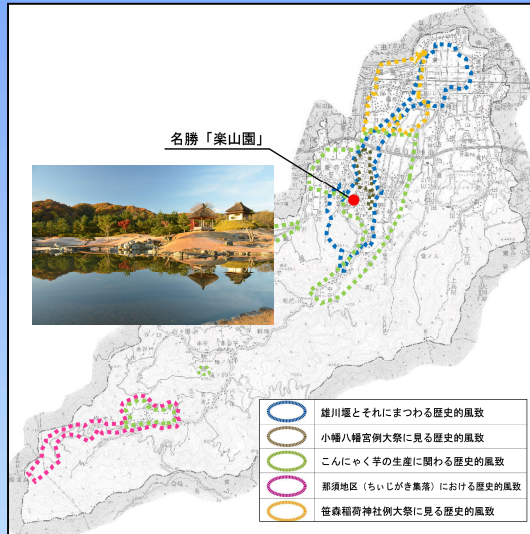
計画期間
令和2年度（2020）～令和11年度（2029）

城下町の風情を今に伝える武家屋敷や、明治期の養蚕農家建造物群が残る小幡のまちなみの中を流れ、住民の生活に溶け込んでいる雄川堰、そのまちなみを舞台として今なお受け継がれている伝統行事や民俗芸能、さらに地理的条件を上手く活用して展開されている農業が一体となって甘楽町の歴史的風致を形成している。

雄川堰とそれまつわる歴史的風致



小幡城下の歴史的まちなみの中を流れ、藩政時代以来、住民により大切に管理されてきた雄川堰は、人々の営みとともに安らぎの空間として歴史的風致を形成している。



笹森稲荷神社例大祭に見る歴史的風致



「ささもりいなりじんじや笹森稲荷神社」を尊信し繁栄してきた福島ふくしま瓦の職人が盛り上げる「笹森稲荷神社例大祭」。氏子たちが一体となり、継承されてきた活動が歴史的風致を形成している。

那須地区(ちいじがき)集落における歴史的風致



「ちいじがき」と呼ばれる石積みが独特の景観を成し、農業に関わる伝統行事が継承されている那須地区は町を代表する原風景であり、歴史的風致を形成している。

小幡八幡宮例大祭に見る歴史的風致



藩政時代から受け継がれてきた例大祭が氏子同士の心をつなぎ、活気ある人々の営みと、養蚕により繁栄したまちなみの歴史的風致を形成している。

こんにゃく芋の生産に関わる歴史的風致



こんにゃく芋の生産活動とこれを取り囲むように築造された石積が創り出す風景は、特徴的な歴史的風致を形成している。

重点区域における主な施策・事業概要

重点区域の名称と面積
小幡城下町地区 207ha

水路の整備事業



雄川堰（左：大堰／右：小堰）

小幡のまちに網目状に張り巡らされている「雄川堰（大堰及び小堰）」の石積改修や洗い場の整備工事を行う。

道路の整備事業

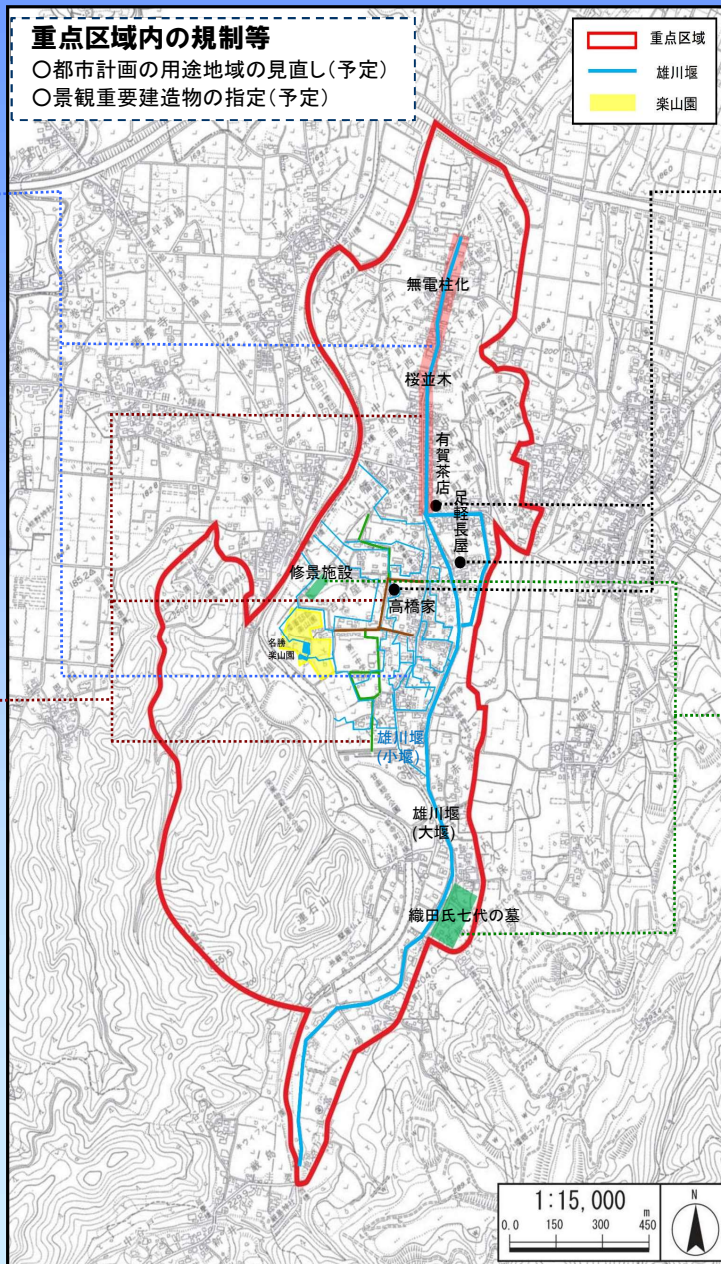


無電柱化を予定している町家地区

歴史的建造物が数多く残る町家地区の無電柱化及び、「楽山園」周辺の町道の美化や道路改良整備を行う。

重点区域内の規制等

- 都市計画の用途地域の見直し(予定)
- 景観重要建造物の指定(予定)



建造物の保存・修理事業



旧足軽長屋
城下町の風情を色濃く残す武家屋敷や足軽長屋等の建造物の保全・修理を行い、歴史的建造物として保存し、見学者への一般公開を促進する。

公園の整備事業



織田氏七代の墓

小幡散策の起点となる雄川沿い及び城下町小幡の成り立ちを知るうえで重要となる「織田氏七代の墓」や「楽山園」周辺における公園整備を行う。